

令和7年度 公立紀南病院組合経営強化プランの点検・評価

1. 点検・評価

令和5年度に、経営計画(収支計画)の最終年度を令和9年度と位置づけ、「地域医療構想を踏まえた役割・機能の最適化と連携の強化」、「医師・看護師等の確保と働き方改革」、「経営形態の見直し」、「新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組」、「施設・設備の最適化」、「経営の効率化」という6つの視点を基本柱としてプランを策定した。「地域医療構想を踏まえた役割・機能の最適化と連携の強化」については、和歌山県の地域医療構想等を踏まえつつ、紀南地域の中核病院として今後も当地域の医療の発展に貢献していかなければならぬ立場であることから、従来どおり急性期医療・高度急性期医療を担いながら、地域の医療機関との連携をより強化していく。また、「医師・看護師等の確保と働き方改革」については、他職種へのタスクシフト/シェアを推進し、医師の負担軽減を図るとともに、医師および看護師等の確保について取り組みを進めていく。

令和6年度決算においては、事業収入はコロナ禍前の水準にまで回復するも、費用面において物価高騰や賃金上昇などの社会的影響により給与費、材料費、光熱水費および委託費等が大幅に増加となり、経常収支は480百万円の赤字となった。アフターコロナの時代を迎え、引き続き安定した医療サービスの提供を継続していくためには、更なる収入の確保および経費の削減に全職員が一丸となって取り組む必要がある。

2. 令和6年度収支実績調書

(単位:百万円、%)

項目	令和6年度 計画値	令和6年度 実績値	増減	実績が計画より後退した場合はその理由
医業収益	12,230	11,695	△ 535	主に入院収益(△451)および外来収益(△54)の減少による。
経常収益(A)	13,559	13,046	△ 513	主に入院収益(△451)および外来収益(△54)の減少による。
医業費用	12,880	12,749	△ 131	主に給与費(△12)および材料費(△116)の減少による。
うち職員給与費	6,338	6,326	△ 12	主に報酬および法定福利費の支給減による。
うち材料費	4,082	3,966	△ 116	主に入外収益の減少に伴う材料費の減少による。
うち減価償却費	535	535	0	
経常費用(B)	13,640	13,526	△ 114	主に上記材料費の減少による。
経常損益(A-B)	△ 81	△ 480	△ 399	主に入外収益の減少により赤字額が増加。
単年度資金収支額	△ 18	△ 580	△ 562	主に流動資産(現金預金)の減少(△630)および流動負債(未払金)の増加(50)による。
地財法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額解消年度	—	—		
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額	—	—		
地財法による資金不足比率	—	—		
経常収支比率	99.4	96.4	△ 3.0	主に入外収益の減少による。
医業収支比率	95.0	91.7	△ 3.3	主に入外収益の減少による。
修正医業収支比率	94.5	91.4	△ 3.1	主に入外収益の減少による。
病床利用率(実働)	76.2	70.7	△ 5.5	入院患者数が予定人数に届かず病床利用率が減少。
一般会計 からの繰入金	収益的収支	(38) 854	(37) 875 (△ 1) 21	
	資本的収支	(69) 514	(69) 512 (0) △ 2	
	合計	(107) 1,368	(106) 1,387 (△ 1) 19	

()内はうち基準外繰入金額